

日本赤十字社鳥取県支部 令和3年度事業実施概要

《令和3年4月1日～令和4年3月31日》

1 災害救護活動

赤十字に課せられた使命である災害救護活動を迅速かつ適切に実施できるよう救護要員の任命・訓練（研修）を実施したほか、救護資機材の整備・充実に努め、救護体制に万全を期している。

また、災害義援金の受付団体の一つとしてその役割を担っている。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、大人数、圏域を超えた訓練等は行われず、少人数に限定したり、オンライン型の研修となった。

(1) 救護班要員の登録

※（ ）は再掲

施設	区分	災害対策本部要員	日赤災害医療センター	救護班要員 (常設救護班として5個班を登録)						血液供給要員	合計
				医師	看護師長	看護師	助産師	薬剤師	主事		
日本赤十字社鳥取県支部		6	(1)	0	0	0	0	0	0	0	6
鳥取赤十字病院		7	(5)	5	5	10	(1)	2	10	0	40
鳥取県赤十字血液センター		0	0	0	0	0	0	0	2	4	6
合計		13	6	5	5	10	(1)	2	12	4	52

※救護班編成基準（1個班）

医師（班長）	看護師長	看護師	主事	計
1	1	2	2	6

(2) DMAT 隊員の登録

※（ ）は統括 DMAT 隊員

区分	職種	医師	看護師	業務調整員	計
日本 DMAT 隊員		4(1)	15	8	27(1)
ローカル隊員資格のみ		1	1	6	8

(3) 災害見舞い品等の配付

○災害被災者に対する見舞品贈呈内規に基づく配布

・地区配布状況（令和4年3月31日現在） 17世帯、29人

毛布	緊急セット	安眠セット	タオルケット	タオルセット
25枚	21セット	10セット	10セット	6セット

・救援物資在庫状況（令和4年3月31日現在）

毛布	緊急セット	安眠セット	タオルケット	タオルセット
1,286枚	922セット	100セット	133個	88個

(4) 災害救護訓練への参加

名称〔主催〕	実施日	会場
鳥取空港消火救難対応訓練	11/3	鳥取赤十字病院（Web）
鳥取市国民保護訓練〔鳥取市〕	12/3	鳥取市湖南地区大郷分館
エマルゴ訓練〔NPO 救命とっとり〕	12/12	鳥取赤十字病院

(5) 救護員の養成、研修

ア 鳥取県支部主催

名称	実施日	会場	人数
第1回災害対策本部研修会	6/19	鳥取県赤十字血液センター	6
第2回災害対策本部研修会	8/29	鳥取県赤十字血液センター	6
第3回災害対策本部研修会	10/2	鳥取県赤十字血液センター	6
第1回血C対象災対本部研修会	11/20	鳥取県赤十字血液センター	4
第2回血C対象災対本部研修会	12/18	鳥取県赤十字血液センター	4
アマ無線全国無線非常通信訓練	10/17	伯耆国分寺跡	28
救護班要員基礎研修会	3/10	鳥取赤十字病院	

イ 本社・ブロック主催

名称	実施日	会場	人数
日赤第5ブロック合同救護訓練	11/13	香川県	11
こころのケア指導者養成研修会	2/11~2/13	Web	1
日赤災害医療 CoT フォロー研修	3/13	Web	6

(6) 臨時救護

出動件数	2回	派遣救護員 (看護奉仕団等)	4名	取扱傷病者	8名
------	----	-------------------	----	-------	----

(7) 国内義援金取扱い状況

義援金名	件数	金額(円)
平成30年7月豪雨災害義援金	13	91,000
令和2年7月豪雨災害義援金	17	71,228
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	4	56,536
令和3年島根県松江市大規模火災義援金	5	237,668
令和3年7月大雨災害義援金	26	701,644
令和3年8月大雨災害義援金	5	86,912
計	70	1,244,988

2 救急法等講習普及事業

救急法等各種講習会は新型コロナウイルス感染予防策を実施して開催。また依頼に応じ指導員の派遣を行い、命と健康を守る知識や技術を普及し、事故防止思想の涵養を図った。

(1) 講習実施状況

	種別	実施回数	受講者数	備考
	救急法	救急員養成(12時間+検定)	1回	24名
	基礎講習(4時間程度)	6回	76名	75名合格
	短期講習(1~3時間程度)	118回	3,544名	
	指導員養成講習	1回	8名	8名合格
	計	126回	3,644名	
	種別	実施回数	受講者数	備考
	水上安全法	短期講習(1~3時間程度)	6回	148名
	計	6回	148名	
	種別	実施回数	受講者数	備考
	幼児安全法	短期講習(1~3時間程度)	26回	389名
	計	26回	389名	
	種別	実施回数	受講者数	備考
	健康生活支援講習	短期講習(1~2時間程度)	12回	101名
	計	12回	101名	

(2) 赤十字防災教育事業
赤十字防災セミナー

実施回数	受講者
11回	216名

(3) 各種研修会開催状況

名称〔主催〕	実施日	会場
赤十字防災教育事業主任指導者研修〔本社〕	9/10	Web
防災教育事業本社指導者養成研修〔本社〕	9/28、9/29	Web

3 赤十字奉仕団の育成事業

赤十字奉仕団は、赤十字精神に基づいて、人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成されたボランティアの組織であり、地域ニーズに合わせた奉仕活動や、赤十字事業の普及推進を行っている。更なる奉仕団活動の活性化を図るため、また、奉仕団員の資質を高めるための各種研修会・講習会等を積極的に行った。

(1) 結成状況

種類	団数	団員数(人)		
		男性	女性	計
地域奉仕団	38	142	1,368	1,510
青年奉仕団	3	26	98	124
特殊奉仕団	14	146	219	365
計	55	314	1,686	2,000

(2) 委員会・研修会の開催状況

〔鳥取県支部主催〕

名称	実施日	会場	人数
中部地区赤十字奉仕団委員長会	9/18	湯梨浜町羽合	12
西部地区赤十字奉仕団委員長会	7/15	大山町大山	16
東部地区赤十字奉仕団委員長会	11/1	河原町	15
赤十字奉仕団支部指導講師研究会	4/8	鳥取市	6
	5/26	〃	6
	1/26	〃	6
赤十字奉仕団委員長研修会	10/24	湯梨浜町	54
西部地区赤十字奉仕団基礎研修会	11/21	大山町大山	34
中部地区赤十字奉仕団基礎研修会	11/27	北栄町大栄	26
東部地区赤十字奉仕団基礎研修会	12/7	河原町	42

〔本社主催〕

名称	実施日	会場	人数
赤十字奉仕団中央委員会	5/28	Web 開催	1
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	7/17	Web 開催	54
赤十字ボランティア・リーダー研修会	10/28、10/29	Web 開催	1
赤十字防災ボランティアリーダー養成研修	2/5	Web 開催	1

〔中・四国ブロック主催〕

名称	実施日	会場	人数
中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会	11月	書面開催	9
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団研修会	9/20	Web	3
中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団連絡協議会	6/6	Web	2

中国・四国ブロック赤十字奉仕団連絡協議会	7月～10月	書面開催	
中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会	11/11	Web	1

(3) 奉仕団特別事業 ※主な事業を抜粋

事業名	鳥取県青年（学生）赤十字奉仕団連絡協議会研修会		
期日	12/11	場所	人権交流プラザ
参加者	64名		
内容	赤十字救急法や人権研修等を通して青年奉仕団員の資質を高めた。		

4 青少年赤十字の育成事業

青少年赤十字は、児童・生徒が赤十字の精神に基づき、世界平和と人類の福祉に貢献できるよう、自主的に自ら考え行動できる豊かな人間性を育むことを目的とし、様々な活動を学校教育の中で展開している。

今年度は、新型コロナウイルス感染予防策を講じながら、学校行事が再開した後半より、参加人数を制限しながら、オンライン等も活用した青少年赤十字を育成強化するための、指導者や児童・生徒に対する研修会、講習会等を実施した。

(1) 加盟状況

	幼稚・保育園	小学校	中学校	高等学校	計
学校（園）数	2	7	4	9	22
メンバー数	117	2,320	808	715	3,960

(2) リーダーシップトレーニングセンター

小・中学校…中止

高等学校	日程	3.12.11（1日）開催
	会場	鳥取県立米子工業高等学校
	参加者	青少年赤十字メンバー、青少年赤十字指導者、青少年赤十字賛助奉仕団、鳥取県西部安全赤十字奉仕団
	内容	赤十字と青少年赤十字（講義）、コロナ下での防災、救急法、フィールドワーク、ワークショップなど

(3) 研修会等の開催

ア メンバー（本社主催）

名称	実施日	会場	人数
令和3年度青少年赤十字スタディーセンター	12/25～26 ※26日は大雪警報発令のため欠席	米子コンベンションセンター BIG SHIP	8

イ メンバー（県内）

名称	実施日	会場	人数
西部地区高等学校JRC第1回生徒代表者会議	4/29	米子市福祉保健総合センター ふれあいの里	20
鳥取県高等学校青少年赤十字交歓研修会	6/13	鳥取県立米子工業高等学校	46
西部地区高等学校JRC第2回生徒代表者会議	10/16	鳥取県立米子南高等学校	18

ウ 指導者（本社主催）

名称	実施日	開催形態	人数
青少年赤十字全国指導者協議会総会及び研修会	6/29	Web 会議形式	66
中国・四国ブロック青少年赤十字指導者協議会並びに支部担当者会議	10/22	Web 会議形式	8

（県内）

名称	実施日	会場	人数
高等学校 J R C 第 1 回顧問会	4/16	鳥取県立米子南高等学校	9
高等学校 J R C 第 2 回顧問会	11/15	鳥取県立米子工業高等学校	7

5 献血思想普及事業

県内に、鳥取県赤十字血液センターを設置し、献血への正しい理解を広め、献血者を確保し、採血業務及び血液製剤の供給を行っている。当支部では、献血思想の普及のための事業を行い、血液事業の推進に努めた。

（1）献血推進功労団体等に対する支部長表彰

実施日	9/13	会場	鳥取県立図書館 2階 大研修室	表彰数	1 法人
-----	------	----	--------------------	-----	------

6 国際活動

日本赤十字社は、自然災害や紛争により被害が発生した場合、赤十字国際委員会及び国際赤十字・赤新月社連盟の要請に応え、救護活動を行うとともに発展途上国に対する開発援助を実施している。

当支部では、本社の行う国際救援活動の一翼を担うため、中国・四国各県支部（第5ブロック）合同による支援事業を行った他、海外救援金の募集を行った。

（1）アジア・大洋州 給水・衛生キット支援事業

【令和3年度事業費総額 1,300万円（第5ブロック負担700万円）】

鳥取県支部拠出金 536,858円

（2）NHK海外たすけあい

NHKと日本赤十字社が1983年から毎年12月（1～25日）に共同で実施

協力件数：231件 金額：2,499,048円

（3）海外救援金

救援金名	件数	金額（円）
トンガ大洋州噴火津波救援金	1	36,900
ウクライナ人道危機救援金	45	2,989,000
計	46	3,025,900

7 社業振興事業

日本赤十字社は、会員をもって組織される民間団体（認可法人）であり、人道的任務達成のための諸事業を推進している。その財政基盤は、会員が毎年拠出する「会費」と一般からの「寄付金」により支えられている。本年度も赤十字思想の普及を図り、一人でも多くの人々により深く赤十字活動についての理解を得て、財政的な支援を求める運動を展開した。

（1）赤十字運動月間の実施（令和3年5月1日～31日）

ア 広報紙「赤十字とっとり」の作成（187,000部）

イ 法人用活動資金募集リーフレットの作成（10,000部）

ウ 赤十字運動月間周知キャンペーン

- (県下19全市町村奉仕団を中心に実施。広告入りポスター12,000個作成)
- エ 有功会会員企業社屋へPRのための懸垂幕を設置
- オ 鳥取県庁前大型電光掲示板、中電ふれあいホール大型ビジョンを活用したPR

(2) 活動資金増強の取り組み

- ア 法人設立年の節目にあわせた社会貢献寄付の推進
- イ 赤十字寄付金付き自動販売機の設置推進 (県内各企業訪問によるアプローチ)

(3) 各種委員会、研修会等開催・参加状況

名称	実施日	会場	人数
地区・分区事務担当者研修会	文書審議		
全国赤十字大会	(中止)		
第102回日本赤十字社鳥取県支部評議員会	R3. 6. 25		29
地区長・事務担当者合同会議	文書審議		

(4) 鳥取県赤十字有功会

名称	実施日	会場	人数
第46回総会	R3. 6. 29	ホテルセントパレス 倉吉	25

(5) 法人社資募集

法人社資実績*10,046,798円

【DM発送 (R3. 11)】

送付数	応諾数 (率)	社資実績
1,800件	626件 (34.8%)	7,594,000円

(6) 広報関係

- ア ホームページによる情報提供
- イ 新聞広告の掲載
- ウ ポスター掲示 (支部・施設、地区分区、奉仕団、有功会法人会員)
- エ 赤十字パネル貸し出し事業
- オ 赤十字会員 (2,000円以上の活動資金協力者) へ赤十字 NEWS 等の配布による情報提供

8 人権啓発活動

世界中で感染の拡大が続いている新型コロナウイルスによる感染症。当支部では、この感染症の“負のスパイラル”を知り、断ち切るためのガイドとして作成された「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」を用いて、人権研修の講師を派遣した。

団体名	実施日	会場	人数
鳥取市公民館連合会北地区公民館	R3 5/17	鳥取市人権交流センター	50
用瀬町総合福祉センター	6/8	ふれあいサロン「ひなの里」	11
伯耆町立二部小学校	9/1	伯耆町立二部小学校	80
山陰リネンサプライ 株式会社	10/16	鳥取市人権交流プラザ	60
米里地区人権推進協議会	10/16	米里地区体育館	40
伯耆町立溝口中学校	11/13	伯耆町立溝口中学校	135
米子市和田公民館	11/16	米子市和田公民館	30
あおば地区人権啓発推進協議会	11/20	あおば地区公民館	30
鳥取県立八頭高等学校 PTA	R4 1/15	鳥取県立八頭高等学校	17
瑞穂地区人権教育推進協議会	3/5	瑞穂地区公民館 1階会議室	16